

(4) 子ども・青少年施設

再編方針	◆子ども会館・子どもの家は、小学校の建替え等に合わせ小学校に複合化する。 ◆待機児童（学童保育）対策として、民間学童保育事業の参入を促進する。 ◆施設の老朽化の状況を考慮し、将来的には順次青少年会館を廃止し、従前の青少年会館の機能は、多世代が交流できる機能として地域拠点校に統合する。
------	---

再編内容	短期（H26～H31 対応分） ・喫緊の待機児童（学童保育）対策として、既存校舎の活用を進めていく。 ・民間学童保育事業の参入促進を検討する。
	中期（H32～H37 対応分） ・玉縄青少年会館は、施設内の機能を順次他施設へ移転し、平成 32 年度までに施設を廃止する。 ・小学校の建替え等整備に合わせ、子ども会館・子どもの家を複合化する。
	長期（H38～H65 対応分） ・小学校の建替え等整備に合わせ、子ども会館・子どもの家を複合化する。 ・鎌倉青少年会館の老朽化の状況を踏まえ施設を廃止し、施設内の機能は、多世代が交流できる機能として地域拠点校に統合する。（建替え等による複合化整備までの間、既存施設は存続する。）

再編によるコストの削減効果等

図表 子ども・青少年施設の規模の推移

	現状			
		短期 H31年度末時点	中期 H37年度末時点	長期 H65年度末時点
施設数	21	21	20	13
青少年会館	2	2	1	0
子ども会館 ・子どもの家	19	19	19	13
施設面積	6,620㎡	6,593㎡	5,272㎡	3,767㎡

※複合化する際、既存施設の共用部分の面積が10%程度削減されると仮定。
※中長期において、将来の児童数の見込み及び小学校の統廃合に合わせ、施設数の見直しを実施。

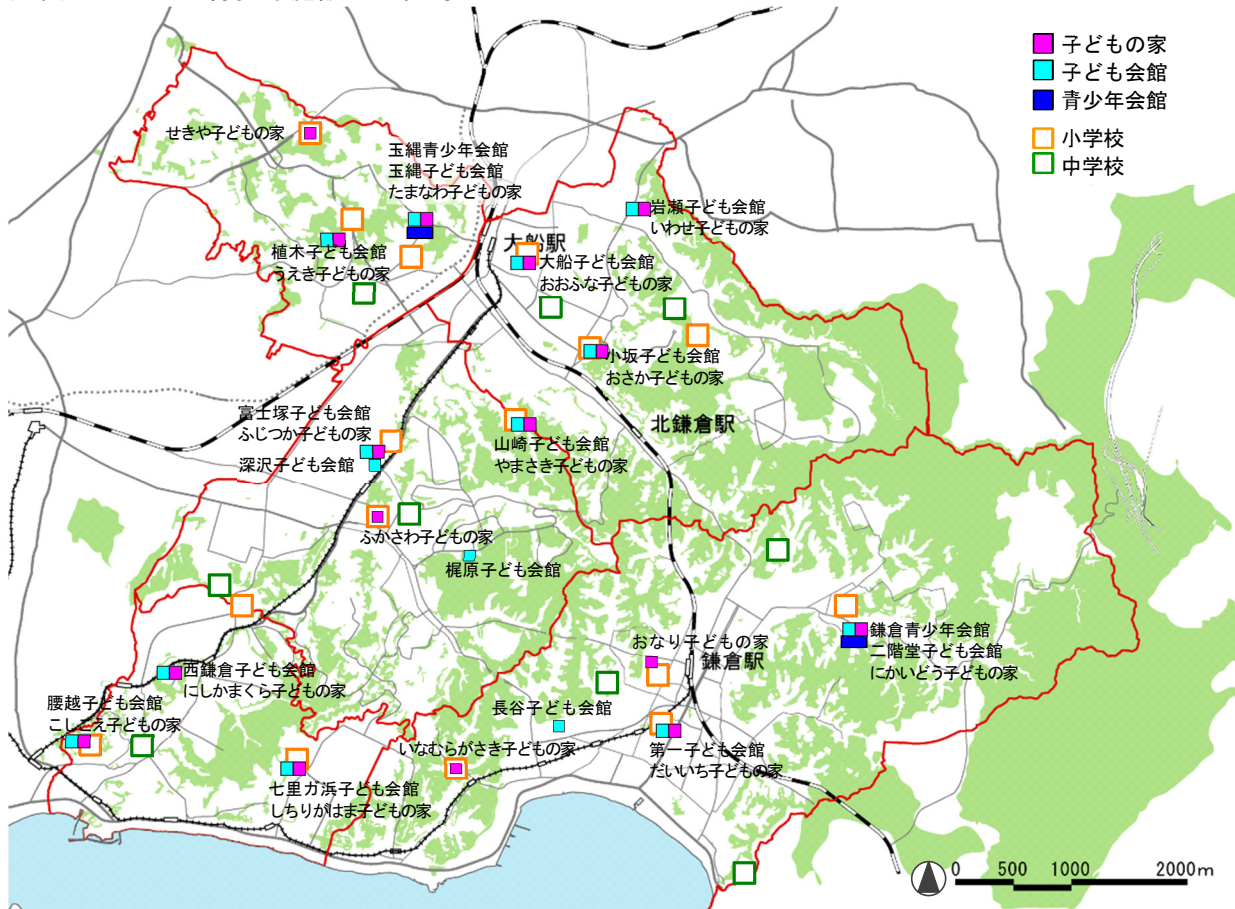
図表 子ども・青少年施設のコスト（累計）

（百万円）

		短期 H26～H31 (6年間)	中期 H26～H37 (12年間)	長期 H26～H65 (40年間)
従来型コスト	$A=a+b$	1,721.6	3,442.6	12,690.0
建設	a	73.0	145.4	1,699.4
管理運営	b	1,648.6	3,297.2	10,990.6
再編後のコスト	$B=c+d+e$	1,637.9	3,084.8	6,034.6
建設	c	52.6	266.1	1,309.9
管理運営	d	1,596.3	2,965.4	7,828.4
借地料	e	▲ 11.0	▲ 146.7	▲ 3,103.7
コスト削減効果	$C=A-B$	83.7	357.8	6,655.4
削減率	C/A	4.9%	10.4%	52.4%

※借地料収入は建設及び管理運営に係るコストに対してマイナスとなるため、数値に▲をつけて表記している。

図表 子ども・青少年施設の配置等



■ 参考事例：放課後児童クラブの設置

①児童館への放課後児童クラブの設置

名 称	上長飯エンゼル児童クラブ
所 在 地	宮崎県都城市上長飯町
延 床 面 積	860.32㎡
構 造・規 模	木造2階建て
設置年月日	平成14年4月1日
設 置 運 営	社会福祉法人エンゼル会

児童福祉施設併設型民間児童館を建設することになった際に、併せてその児童館の中に、放課後児童クラブを設置した事例です。

地域の大人や高校生・大学生ボランティアとの交流を大切に様々な行事が実施されています。

上長飯エンゼル児童館外観



出典：上長飯エンゼル児童館
ホームページ



梅干しづくりの様子

出典：厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 放課後児童クラブ実践事例集

②放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施

名 称	東玉川小新 BOP
所 在 地	東京都世田谷区奥沢一丁目 (東玉川小学校内)
校舎1階西側空き教室2部屋を利用 (126㎡)	
設 置 運 営	東京都世田谷区子ども部児童課・教育委員会事務局生涯学習・地域・学校連携課

世田谷区では、放課後の子どもたちの居場所を確保し、自由な遊びや体験・交流の場を充実させ、創造性・自主性・社会性などを培う BOP (Base Of Playing: 遊びの基地) 事業と放課後児童クラブの機能とを統合した新 BOP 事業を展開しています。

東玉川小新 BOP の活動の様子



出典：厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課 放課後児童クラブ実践事例集

